

# 会 議 等 結 果 報 告

名 称	令和7年度 第1回 上富良野町学校給食のあり方検討委員会
日 時	令和7年9月1日（月）18:00～20:10
場 所	上富良野町社会教育総合センター 大集会室
出席者	委員9人（別紙名簿のとおり、1名欠席） 鈴木教育長、高松教育振興課長、新井学校教育班主幹、深山学校教育班主査、 学校給食センター 久保主査、田原栄養教諭 15名
内 容	<p>（委員長選出までの進行：高松教育振興課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菅原委員の欠席を報告。</li> <li>・町の会議は公開が原則であり、基本的に全ての会議を公開し、傍聴を可としている。本日の会議は1名の傍聴者がいる。傍聴者におかれては発言、意志を示すような行動は控えていただきたい。</li> </ul> <p><b>1 委嘱状交付（高松課長）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員への委嘱状は机上配布による交付となるのでご了承いただきたい。</li> <li>・各委員におかれては本日から令和9年3月31日までの2年間の任期となるが、どうぞよろしくお願いしたい。</li> </ul> <p><b>2 教育長挨拶（鈴木教育長）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本検討委員会は本年度に新たに設置し、要綱第3条第2項第1号委員として各学校長4名、第2号委員として各学校のPTA会長4名、第3号委員として旭川市立大学から准教授1名、第4号委員としてアレルギー団体から1名の、委員10名で組織させていただいた。</li> <li>・学校給食センターの沿革と現状について説明。（富良野広域連合として運営しているが、課題が多く、今後の検討委員会での協議議案でもお示ししているが、老朽化等の問題、富良野学校給食センターからの配送可能性の協議など連合としても協議したが、当面は困難と判断され、今回、本町で検討委員会を設置して協議することとなった。）</li> <li>・安全、安心、安定の学校給食のため、闊達なご協議をお願いしたい。</li> </ul> <p><b>3 委員長及び副委員長の選出（高松教育振興課長）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置要綱第5条第2項により委員互選であるが、事務局案があり、提案させていただいてよろしいか。（全員了承）</li> <li>・委員長に旭川市立大学の岸山准教授、副委員長に東中小学校の軽部校長をお願いしたい。（全会一致で可決）</li> </ul> <p><b>4 委員長挨拶（岸山委員長）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以降、委員長により会議を進行。</li> </ul> <p><b>5 協議事項（事務局からレジュメにより詳細説明）</b></p> <p>(1) 上富良野町学校給食のあり方検討委員会の設置目的について</p> <p>(2) 学校給食を取り巻く環境について</p>

**(3) 上富良野町学校給食の現状について** を一括説明。

(岸山委員長) ここまでで各委員から質疑等、発言を求めたい。

(野原委員) 5 頁の食物アレルギーの代替え品の人数について、もっといって把握しているが、細かい内訳を教えてください。

(深山主査) お弁当持参が 2 名いる。

(新井主幹) お弁当はその日の学校給食がアレルギーにより完全に食べられないときに持参いただいており、アレルギー原因とならない食材等で調理された給食は食べている。

(軽部副委員長) 4 頁の東中小教員の給食数は 19 食でなく 10 食である。よって、7 頁も修正されたい。

(深山主査) 承知し、修正したい。

(岸山委員長) もし新しく建設する場合に負担は町になるのか。

(新井主幹) 上富良野の学校のための提供であれば、上富良野町負担となる。

**(4) 現状課題について** (深山説明)

(岸山委員長) ここまでで各委員から質疑等、発言を求めたい。

(立崎委員) 上富良野以外で古いセンターはあるのか。

(新井主幹) 南富良野が古かったが、外観は修理していないが、水害により内装、厨房等の調理機器類は新しくなっている。

(立崎委員) 当日配布資料を見ると、令和 10 年度の富良野学校給食センターの調理提供数は 1,820 食、これに南富良野 201 食・上富良野 677 食を合計したら 2,698 食で、令和 5 年度の 2,800 食を下回っており、令和 10 年には上富良野給食も調理可能となると思うが、そこはどうなのか。今後、富良野で受け入れる可能性はあるのか。

(高松課長) 令和 6 年度の協議では、現時点では提供できないと判断をいただいている。調理員の確保ができないため。また、現行の施設面積では受け入れることが不可能で、増築するにも河川が近く立地的に拡張もできない。よって、現在の施設規模では受け入れできない回答であった。

(立崎委員) 令和 10 年度になっても富良野は受け入れしれないと思われる。

(鈴木教育長) 富良野学校給食センター建設時の提供可能数は 3,500 食であるが、現時点では衛生基準等々で 2,800 食となっている。現時点では 2,100 食程度が実際の調理提供可能数と思われる。よって、現状では上富良野への調理提供は困難と判断されている。

(高松課長) 各施設の経過年数について補足説明する。南富良野が築 49 年経過だが、水害で改修しており、内装類は一番新しい。富良野は築 26 年経過、上富良野は 49 年と一番古くなっている。

**(5) 課題の解消に受けて** (深山説明)

(岸山委員長) ここまでで各委員から質疑等、発言を求めたい。

(軽部副委員長) 議案の (5) と (6) とともに現状課題、今後の協議項目で同様の内容であるが、その内容に差異がある。どちらをこの検討委員会で協議していけばいいのか。

(岸山委員長) 合わせて (6) の説明を事務局に求める。

**(6) 現状を踏まえ検討委員会で協議する内容について(案)** (深山説明)

(岸山委員長) 課題等は事務局から提起されているので、この検討委員会でいろいろな可能性を探っていきたいと思う。例えば、有機食材のみで学校給食を調理している市町村もある。

(新井主幹) 老朽化による課題が大きい。旭川でも調理場がウエット方式で調理しているところもあり、いつまで許可いただけるかも課題である。また、アスベストなども課題としてあがっているところもある。

(岸山委員長) 一部ではウエット構造だけれども、調理中はドライで、洗浄・清掃中のみウエットとなっている。また、自校給食にこだわりを持っているところもある。

(森井委員) ほかの自治体も老朽化が課題となっている説明であり、ほかの自治体の学校給食の対応を知りたい。広域連合でのメリットはなく、こだわる必要はないと思う。また、古い給食センターではアスベストの対処はしているのか。

(高松課長) 南富良野は内装のみの改修であり、外壁躯体は改修していない。

(森井委員) 上富良野は改修して運営していける可能性はあるのか。

(高松課長) ボイラー、配管などの大規模改修は調理配送ができなくなるので、提供しながらの改修は不可能である。

(桑原委員) 事務局として本日の会議の落としどころはどこを想定しているのか。町はどこに向かおうとしているのか。

(高松課長) 最終的に学校給食をどういう形で提供していくのかをまとめ上げて提案することである。本日は各委員に情報提供と共有を行い、今後、この検討委員会で協議していく課題を洗い出してもらいたいと考えている。

(桑原委員) 改修若しくは建替の費用、それに要する期間、労働環境、建て替えた後の管理運営経費などの情報提供をいただきたい。

(立崎委員) 建て替えた後、富良野広域連合として、ほかの自治体の給食を調理するのかしないのか、上富良野のみの調理とするのか。他市町村分を調理する・しないの規模で建て替えた場合の比較、予算などの情報を提供されたい。

(岸山委員長) 論点整理する。富良野広域連合の中で協議するのか。上富良野単独で協議するのか。建て替えた場合、国・道補助、町負担の内訳が発言されている。

(加藤委員) 提供方法について、上富良野のみで行うのか。広域連合で提供されるまで現状を維持するのか。業者に委託することで解消できる課題もあると思われる。この検討委員会でどのレベルで報告するのか。駐屯地を生かして駐屯地調理場で学校給食を提供できる可能性はないのか。上富良野独自で学校給食を提供することがはっきりと明確化していれば協議しやすくなるのでは。

(森井委員) 道の駅を設置するのであれば、そのレストランと学校給食を合わせて調理できることはできないのか。また、ラベンダーハイツと一緒に調理できないか。夢のあるような協議をするならば、いろいろと可能性はある。

(本間委員) 今後の検討委員会の協議の見通しを持ちたいので、今回出された意見を整理して提供されたい。

(金山委員) この検討委員会の協議結果は参考意見として出すのか、答申レベルで出すのか明確にされたい。学校給食法では町単独調理が原則だと理解している。地元での調理提供を希望する。地元上富良野町の子どもたちへ学校給食提供で何ができるのか。町が困っている現状を町民にも理解いただく必要がある。町民アンケートをしてしっかり町民意見を把握すべき。

(野原委員) 小2の子どものお弁当を毎回作っているが、食べられるもので調理された給食の時には学校給食を取ってもらっている。学校給食でアレルギー対応をして

もらいたい。

(田原教諭) 現場の意見として、現状の調理方法を維持存続してもらいたい。

(岸山委員長) 広域連合を含めて検討していくのか・いかないのか、的を絞った方がよい。

この検討委員会の成果(報告書)は町民に公開するのか。広域連合に提案することもあるのでは。

(鈴木教育長) この検討委員会の協議経過・結果は①町教育委員会へ報告する。

②町長にも報告する。③広域連合にも報告する。あり方の方向性はAパターン、Bパターンなど、いろいろなパターンを検討していくことになる。

#### (7) 検討委員会の今後スケジュールについて(深山説明)

・次回を10月に設定している。視察先や町民アンケートの議題を想定している。

(立崎委員) まずは、上富良野町学校給食センターの現場を確認したい。

(岸山委員長) 町民アンケートのイメージは学校給食への満足度調査と思っていたが、あり方へのアンケートとなるのか。

(立崎委員) 検討委員会の方向性が見えてこないなので、町民アンケートをしても、する側が見えていないので難しいと思う。

(軽部副委員長) 先進地視察は、ただ見に行くだけではもったいないので、目的を明確にしてから、行くかどうかを協議すべき。先進地調査はこの検討委員会の方向性が見えてから検討したほうが良い。

(立崎委員) 学校給食提供に地元愛があるところには視察してもいい。この会議の方向性が見えていないのか。

(軽部副委員長) 事前に資料が配布されているので、本日の説明のような丁寧な説明はいらない。事前配布により各委員が議題資料を確認済みとし、会議時短を図って説明願いたい。

(高松課長) 2回目以降の会議は、テーマをしっかりとって設定したい。

(岸山委員長) ほかに発言がなければ以上で本検討委員会を閉会する。次の会議は本日出された課題を整理してから日程を調整したい。以上で議事を終了し、進行を事務局に戻す。

#### ■閉会(高松課長)

・本日出された課題を整理し次回を設定したい。以上で終了する。

(20時10分終了)